

富屋地区
シンボルマーク

みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

112号

2025 (令和7年)

1月発行

広報とみや

富屋地区敬老会 75歳以上の高齢者が884名に!!

9月15日(日)に、富屋地区敬老会が富屋地区市民センターにおいて、100名の高齢者が参加し、盛大に行われました。

式典では、齋藤直偉富屋地区社会福祉協議会長から「いつまでも健やかに楽しい毎日を送れるよう、コロナで培った経験や知識を生かして過ごしましょう。」とのあいさつがありました。その後、敬老者の代表として駒場重夫さんに記念品が贈呈されました。

式典に続き、お楽しみ会として民話語りと民謡が披露されました。初めに、富屋小学校6年生児童6名による民話語りがあり、地元で作られていた名刀「徳次郎正宗」、中町にある「あざ地蔵」、また、児童自身が参加している獅子舞に関連した「関白獅子舞の由来」など、一生懸命に語る児童の姿や情感豊かな語りに誰もが聴き入りました。発表した児童は、「こんなにたくさんの大人の前で初めて語ったので恥ずかしかったけれど、楽しかった。」「自分ではうまく語れたと思う。」と感想を述べていました。続いて、矢野様、飯村様、上野様、駒場様の4名による民謡がアンコールを含め7曲披露されました。聴くだけでなく、歌に合わせて手拍子をしたり掛け声を入れたり会場は一体となって盛り上がり、楽しい時間となりました。



自治会だより

我が町西根 ホタルの里



西根地区には土地改良を機に2007年(17年前)、ビオトープ(生物の生息空間として)ホタルの里が自然を後世に残そうと作られました。ホタル愛護会のメンバーを中心に、草刈り等定期的に管理しています。特にこの地にはホタル研究所を作り、ホタルの幼虫を飼育しています。所長池田一美さんを中心に、若色一夫さん、吉原哲雄さんが年間を通してホタルのエサになるカワニナを小川町方面まで探しに行っています。同時に、富屋小学校3年生を中心に学校でホタルの飼育を約5か月間行い、2月には幼虫の放流を行っています。ホタル研究所の3名と多くの協力者の皆様のおかげでホタルの飛ぶ里になりました。毎年5月下旬からホタルが飛び出し6月下旬まで飛んでいます。なお、6月にはホタル観賞会も行われています。是非、ホタルが飛び交うすばらしい夜のファンタジーショーに足を運んでください。(徳次郎西根自治会長 池田 功)

ファイト!とみや 2024

雨の天気予報も参加者の皆さんのみなぎるパワーとやるぞという思いで吹き飛び、運動するのにちょうどいい天気となった10月26日(土)、富屋小学校と富屋地区体育協会の共催による「ファイト!とみや2024」が富屋小学校校庭において開催されました。学校と地域が交互に14種目を行いました。綱引きには中学生のチームが参加したり、地区対抗リレーでは男女混合のチームで競ったりと大人も子供も、もてる力を振り絞り頑張る姿が見られました。

結果は、小学校の紅白対抗は優勝白組、準優勝赤組、地区対抗は、優勝中町、準優勝東部、3位下町でした。



こんにちは! サポートセンターとみやです😊

社会福祉法人すぎの芽会 サポートセンターとみやは、徳次郎町にある多機能型事業所(生活介護・就労継続支援B型・日中一時)です。事業所近隣に猫のマークが目印の“ベーグルと焼き菓子のお店”「ちゃお丸」、県庁昭和館2階に「ふくしレストラン CIAO」があるのはご存じでしょうか?どちらもサポートセンターとみやが主体で運営しています。

事業所内の活動としては、下請けの紙袋の作業や箱折り作業、さをり織り等の生産活動を行い、収益は利用者みなさんへ工賃として毎月お支払いしています。その他、散策、創作活動、カラオケ、買い物や外食などのお出かけ、季節の行事、地域行事への参加など、利用者みなさんのご希望も取り入れながら、様々な活動を通して喜びや充実感、社会との関わりを持てるよう、お手伝いしています。生き生き活動している利用者みなさんの姿を身近なものとして感じていただきたいです😊



盛大に開催された とみやふるさとまつり

11月3日(日)に、富屋地区市民センターにおいて「とみやふるさとまつり」が盛大に開催されました。秋晴れのもと多くの地元の皆さんが足を運び様々なイベントに楽しく参加しました。

市民センターのロビーでは、徳次郎石や下野風の会の凧作品が展示されました。また、ホールでは、各種サークルや団体、学校関係の作品等が所狭しと展示されるとともに、カラオケ交流会が行われ多くの人が参集しました。

市民センターの外では、来場した子供たちが参加するチャレンジコーナーや飲食ができるコーナー、野菜販売コーナーなどたくさんのコーナーが設置され、どこも列ができる賑わいでした。また、イベント広場では、10団体が演技を披露しました。

最後は、日光和楽踊りをみんなで踊ることでこのまつりがさらに盛り上がり、地域の皆さんの気持ちが一つになったイベントとなりました。



ふるさと再発見 ⑨

多藤山延命寺



江戸時代には各地の村々にお寺があり、寺は檀家によって支えられていました。その一方で、寺は檀家の仏事を行い、人々の出生や死亡、移動などを管理・記録する役目を担っていました。

上横倉にはかつて「多藤山延命寺」と呼ばれる寺が、現在の多藤神社二の鳥居東方にありました。この寺は上田原西方寺の末寺に属し、宗派は真言宗で、本尊は「聖観音菩薩立像」(写真)を安置していました。

寺のあった跡地は現在木々が生い茂り、歴代の住職の墓石(無縫塔)や石仏、石塔が林立しています。住職の墓石の中には、文化6年(1809)の年号を刻んだものもあります。延命寺の起源は明らかではありませんが、江戸時代には上横倉の人々の信仰を集めました。なお寺の近くに住む荒井家(屋号お寺)は、かつて先祖が寺の住職を務めていました。この寺は明治初年の神仏分離令により廃寺となり、その後檀家の多くは西方寺に移りました。(文化財調査員 池田貞夫)

とみやそばまつり・徳次郎宿ツアー同日開催

大盛況のとみやそばまつり



「とみやそばまつり」が12月1日に地区センターを会場に開催されました。当日は晴天と天候に恵まれたこともあり、開店前からそばを求める人の列ができ、開店を20分早めての開始となりました。富屋産のそば粉で、富屋そば打ちクラブの皆さんが手打ちした二八そばは、「そばにこしがあり、とてもおいしい」と好評でした。同日行われた『徳次郎宿ツアー』の参加者の方もツアーから戻ると、そばを味わっていました。

これまでで一番多い450名余の皆さんに富屋のそばを満喫していただきました。

第2回日光街道18番目の徳次郎宿ツアー！



12月1日(日)に富屋地区まちづくり連絡協議会主催の「第2回歩いて知ろう！日光街道18番目の徳次郎宿ツアー」が開催されました。新聞やラジオで紹介されたこともあり、昨年を上回る41名の方が参加しました。見ごろとなった紅葉の山々を見ながら、徳次郎宿に関わりのある12の歴史遺産を「徳次郎宿案内人」の説明を聞き、間近に見学し、7kmのコースを3時間で散策してきました。参加者の皆さんからは、「説明が分かりやすく参考になった。」「地区を挙げての対応ありがとうございました。」などの嬉しい感想をいただき、歴史遺産が残る徳次郎宿の魅力を感じ取っていただけたようでした。まさに地区を挙げて取り組んできた成果です。



富屋地区のデータ
(令和6年11月末日現在)
世帯数 1,600世帯
総人口 3,284人
男 性 1,548人
女 性 1,736人

今後の主な事業計画

1月12日(日) 二十歳を祝う成人のつどい
1月13日(祝) タコあげ大会
1月19日(日) 不法投棄パトロール
1月25日(土) 富屋地区まちづくり懇談会

■ 編集・発行 ■

富屋地区まちづくり連絡協議会
〒321-2116
宇都宮市徳次郎町80番地 2
(富屋地区市民センター内)
☎028-665-1663